

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 1058

事業名	就学入学祝金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	少子対策課		款	教育費・10款
電話	0799 - 44 - 3040			項	教育総務費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	教育振興費・3目	南あわじ市入学祝金支給条例
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	子どもを産みたい_育てたいまち(子育て)			
	施策目標	子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できるよう、地域全体で支える			
該当する事業について「 」を選択		施策的事业		業務委託	負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		小学校、中学校、中等教育学校及び特別支援学校の小中等部の第1学年に入学する児童生徒の保護者で、当該年度の4月1日現在において市内に住所を有する者	対象人数(人) 905
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 児童生徒の健やかな成長を祝い、もって健全な子育ての増進に資する。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 1. 祝金の支給は、金銭をもって行う。ただし、市長が必要と認めたときは支給することができる。 2. 祝金の支給を受けようとする者は、入学後速やかに申請書を市長に提出しなければならない。 3. 市長は、前項の申請書の提出があったときは、第2条の規定に基づく支給要件を確認した後速やかに祝金を支給するものとする。	
背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 合併前の自転車購入補助金及びヘルメット装着補助金を廃止し、入学祝金として新たに制度を設けた。 ヘルメット補助金については、旧緑町の制度であり、組合立小中学校(洲本市在住の保護者を含め)に対して交付していた経緯があるが、支給条例では、支給対象者を南あわじ市在住の保護者としており、前述の洲本市在住の保護者は支給対象外となる。		
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ()	
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 17 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から		

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	就学入学祝金	指標単位 千円			
	指標説明 (指標算出方法等)	祝金支給趣旨の達成のため、全対象者への交付				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	10,070	9,050	10,000	10,010	
	実績値	10,050	8,980	9,890		
	達成度 (%)	99.8	99.2	98.9	-	
目標値設定の考え方	全就学、入学者に対する祝金の交付					
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	交付件数	指標単位 件			
	指標説明 (指標算出方法等)	祝金支給趣旨の達成のため、全対象者への交付				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	1,007	905	1,000	1,001	
	実績値	1,005	898	989		
	達成度 (%)	99.8	99.2	98.9	-	
目標値設定の考え方	全就学、入学者に対する祝金の交付					
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	直接事業費 (千円)	10,050	8,980	9,890	10,200	
	報償費	10,050	8,980	9,890	10,200	
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	10,050	8,980	9,890	10,200	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	768	748	753	753	
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1	
	事業量1(事業に要した日数)	25	25	25	25	
事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1		
年間経費([A]+[B])	10,818	9,728	10,643	10,953		
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	12.0	10.7	11.8	12.1		
受益者人数(898)1人当り経費(千円)	12.0	10.8	11.9	12.2		
経費に関する補足説明						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	99.8	99.2	98.9	-	
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 本支給条例対象者全員に交付する。							3
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	99.8	99.2	98.9	-	
	成果向上率	%	-	10.6	10.1	-	
(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 本支給条例対象者全員に交付する。							3
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		千円	1.1	1.1	1.1	-	
	効率性増減率	%	-	0.6	0.7	-	
(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 「当該年度の4月1日現在において、市内に住所を有する保護者を対象とする」ということで、転出が決まっても4月1日を過ぎてから手続きをすることがある。							4
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低			自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 受給者の個人情報の取り扱いや公平性を考えると、行政が関与することが望ましいと考えられる。						
							3
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>				
	<p>口座番号の記載間違いなどもいくつか見られ、確認のために家に連絡するなどの事務は、個人情報に関する問い合わせだけに大変であった。直接数字には表れないが、そのための経費も必要となっている。</p>						

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>本事業対象者は、「就学又は新入学する児童生徒を持つ保護者で4月1日現在市内に在住するもの」となっているが、市外の学校に転出が決まっても、保護者だけが4月1日を過ぎてから転出手続きを行ない、本祝金を受給されるケースが数件見られた。</p> <p>基準日等の見直しを行っても、尚同様のことが考えられ、申請者の良心によるものと考えられる。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 現在、南あわじ市の主要施策として少子対策に力を注いでいる事業の一つであり、中止することは、市の姿勢を疑われる可能性がある。	